

消防現勢

消 防 の 沿 革

昭和 22 年	幸田町警防団を消防団に改革
昭和 29 年	豊坂村と合併し、幸田町消防団に改組 (9分団制 233 人)
昭和 30 年	少年消防クラブを発足
昭和 33 年	消防団を 4 分団制に改定
昭和 38 年	消防団へ消防車 4 台、三輪ポンプ自動車 5 台を整備 (日本消防協会から表彰旗授与)
昭和 40 年	幸田町役場職員により消防団準常備部 (10 人) を発足
昭和 41 年	消防団員の定数を 183 人に改定
昭和 46 年	消防団第 1 分団第 1 部の消防車を更新
昭和 47 年	消防団第 4 分団第 1 部の消防車を更新
昭和 48 年	消防団第 3 分団第 1 部の消防車を更新
昭和 49 年	消防団第 2 分団第 1 部の消防車を更新
昭和 50 年	幸田町役場職員により幸田町救急隊を発足 (11 月 1 日) 救急車 1 台 (愛知県共済農業協同組合連合会寄贈) を配備 消防団第 1 分団第 2 部・第 4 分団第 2 部へ小型ポンプ積載車を配備
昭和 51 年	消防団員の定数を 169 人に改定、準常備部を解散 (9 月 1 日) 幸田町消防本部 (庶務係、予防係、警防係) 及び消防署を設置 職 員 : 19 人 消防車 : 2 台 (消防団更新車両充当) 救急車 : 1 台 指令車 : 1 台 広報車 : 1 台 消防団第 2 分団第 2 部・第 3 分団第 2 部へ小型ポンプ積載車を配備
昭和 52 年	消防職員 8 人を採用 (総員 26 人) 第 22 回愛知県消防操法大会四輪の部で第 2 分団が入賞 幸田町危険物安全協会を設立 (会員 54 事業所)
昭和 53 年	消防団員の定数を 147 人に改定 消防車「火災保険幸田号」(幸田 3) を配備 (日本損害保険協会寄贈)

昭和 54 年 消防署第 1 係分隊を設置
消防職員 1 人を採用（総員 26 人）
可搬積載車（幸田 61・62）2 台を配備（石油貯蔵施設立地対策事業）
水槽付消防ポンプ自動車（幸田 1）を配備
石油貯蔵施設立地対策事業にて通産省より消防指令車（幸田 51）を配備
消防ラッパ隊を結成

昭和 55 年 消防職員 1 人を採用（総員 26 人）
資機材搬送車（幸田 5）を配備
救急車（救急幸田 2）を配備（日本損害保険協会寄贈）

昭和 56 年 消防職員 2 人を採用（総員 27 人）
消防用無線機（車載用 10W）を 1 台配備
携帯無線機（1W）を 3 台配備
石油貯蔵施設立地対策事業にて消防団第 3 分団第 2 部車庫を改築
Ⅱ型化学車（幸田 4）を配備

昭和 57 年 消防職員 2 人を採用（総員 29 人）
消防庁長官より竿頭綬を授与
第 27 回愛知県消防操法大会四輪の部で第 4 分団が優勝

昭和 58 年 消防職員 1 人を採用（総員 29 人）

昭和 59 年 消防用無線機（固定可搬兼用型 10W）を 1 台配備
消防用無線機（消防団車載用 10W）を 8 台配備
広報車（幸田 52）を配備（日本消防協会寄贈）

昭和 60 年 消防署の第 1 係分隊長を第 1 係長に改定
消防職員 1 人を採用（総員 29 人）
幼年消防クラブを発足
幸田町危険物安全協会を額田郡危険物安全協会に改定

昭和 61 年 消防職員 1 人を採用（総員 30 人）
防災行政無線を設置（親局 2 局・子局 45 局）

消防署西車庫を新設
 消防団第1分団第1部の消防車を更新
 小型動力ポンプ付水槽車（幸田71）を配備
 救急車（救急幸田1）を更新
 昭和62年 消防職員定数条例を37人に改定
 消防職員1人を採用（総員31人）
 消防団第4分団第1部の消防車を更新
 消防通信室を増築
 第33回愛知県消防操法大会四輪の部で第1分団が入賞
 消防団第2分団第1部の車庫兼詰所を新設
 昭和63年 消防職員1人を採用（総員32人）
 気象観測装置を配備
 消防団第3分団第1部の消防車を更新
 平成元年 消防職員1人を採用（総員33人）
 消防団第2分団第1部の消防車を更新
 消防署南車庫を新設
 はしご付消防自動車（幸田31）を配備
 平成2年 消防職員3人を採用（総員36人）
 普通消防ポンプ自動車（幸田3）を更新
 消防団第1分団第2部・第4分団第2部の小型ポンプ積載車を更新
 平成3年 消防職員1人を採用（総員37人）
 消防団第4分団第1部の車庫兼詰所を新設
 消防団第2分団第2部・第3分団第2部の小型ポンプ積載車を更新
 予防査察車（幸田51）を更新
 救急車（救急幸田2）を更新
 平成4年 消防職員定数条例を44人に改定
 クレーン付資機材搬送車（幸田62）を配備
 第37回愛知県消防操法大会四輪の部で第2分団が入賞

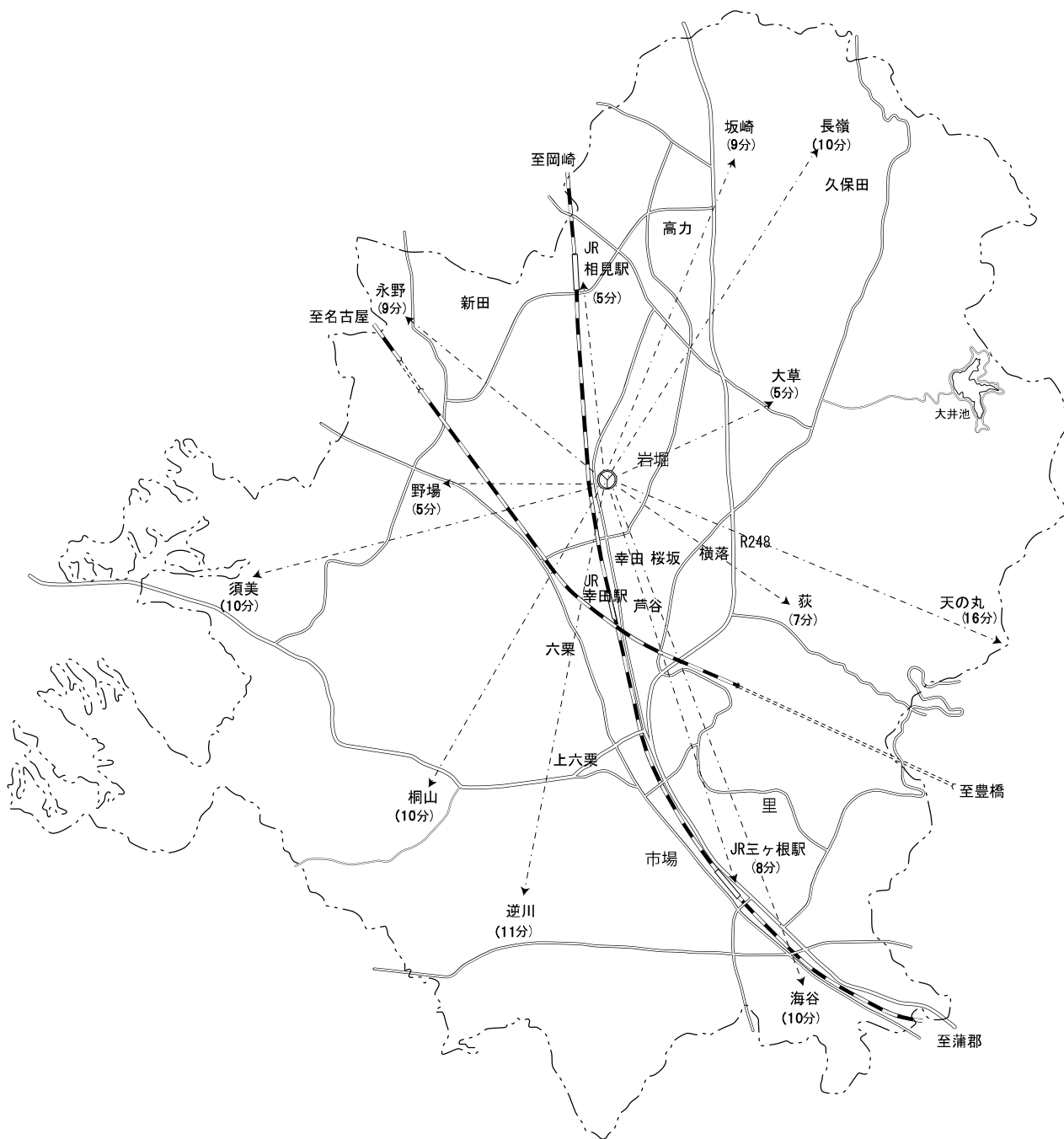
- 平成 5 年 消防職員 2 人を採用（総員 38 人）
水槽付消防ポンプ自動車（幸田 1）を配備（日本損害保険協会寄贈）
救助工作車（幸田 41）を配備
- 平成 6 年 消防職員 3 人を採用（総員 40 人）
指令車（幸田 52）を更新
- 平成 7 年 消防本部に消防課（庶務係、警防係、予防係）を設置
消防職員定数条例を 48 人に改定
消防職員 3 人を採用（総員 43 人）
兵庫県南部地震応援活動を実施（1 月 1 回、3 月 2 回、3 隊 9 人）
消防団第 1 分団第 1 部の車庫兼詰所を新設
- 平成 8 年 消防職員 2 人を採用（総員 45 人）
広報車（幸田 55）を配備（愛知県共済生活協同組合寄贈）
資機材搬送車（幸田 61）を更新
消防団第 3 分団第 1 部の車庫兼詰所を新設
- 平成 9 年 消防職員 2 人を採用（総員 46 人）
第 42 回愛知県消防操法大会四輪の部で第 3 分団が準優勝
救急車更新に伴い、高規格救急車（救急幸田 1）を配備
救急救命士業務を開始
消防団第 1 分団第 2 部の車庫兼詰所を新設
- 平成 10 年 消防団第 2 分団第 2 部の車庫兼詰所を新設
額田郡危険物安全協会を幸田町危険物安全協会に改定
- 平成 11 年 主幹制を導入
消防団第 4 分団第 2 部の車庫兼詰所を新設
- 平成 12 年 消防本部消防課に消防防災係を設置
- 平成 13 年 高規格救急車（救急幸田 3）を配備
（高規格車 2 台、2 B 車 1 台体制）
消防団第 1 分団第 1 部の消防車を更新
- 平成 14 年 消防団第 3 分団第 2 部の車庫兼詰所を改築

- 第 47 回愛知県消防操法大会四輪の部で第 4 分団が入賞
- 平成 15 年 小型動力ポンプ付水槽車（幸田 71）を更新
クレーン付資機材搬送車（幸田 62）を更新
消防団第 3 分団第 1 部・第 4 分団第 1 部の消防車を更新
- 平成 16 年 消防職員 2 人を採用（総員 46 人）
小型動力ポンプ付水槽車（幸田 4）を更新
消防団第 2 分団第 1 部の消防車を更新
- 平成 17 年 消防庁舎を移転（7 月 1 日竣工）
高規格救急車（救急幸田 2）を配備（高規格車 3 台体制）
災害対応特殊ポンプ自動車（幸田 3）を更新
予防査察車（幸田 51）を更新
消防団第 1 分団第 2 部・第 4 分団第 2 部の小型動力ポンプ付積載車を更新
- 平成 18 年 幸田町女性消防クラブを発足（総員 23 人）
指令車（幸田 52）を更新
資機材搬送車（幸田 61）を更新
消防団第 2 分団第 2 部・第 3 分団第 2 部の小型動力ポンプ付積載車を更新
防災遠視カメラを設置
防災備蓄倉庫を設置（深溝小学校）
- 平成 19 年 広報車（幸田 55）を更新
庶務連絡車（幸田 56）を配備
防災備蓄倉庫を設置（坂崎小学校）
消防署北倉庫を新設
第 52 回愛知県消防操法大会ポンプ車の部で第 1 分団が入賞
- 平成 20 年 消防本部消防課を庶務課・予防防災課の 2 課に改定
消防職員 2 人を採用（総員 46 人）
防災備蓄倉庫を設置（豊坂小学校）
水槽付ポンプ自動車（幸田 1）を更新

平成 21 年	救助工作車（幸田 41）を更新 防災備蓄倉庫を設置（荻谷小学校）
平成 22 年	消防職員 3 人を採用（総員 48 人） 高規格救急車（救急幸田 1）を更新 資機材搬送車（幸田 63）を配備 防災備蓄倉庫を設置（幸田小学校）
平成 23 年	消防職員定数条例を 50 人に改定 消防職員 3 人を採用（総員 49 人） 防災備蓄倉庫を設置（中央小学校） 東北地方太平洋沖地震で緊急消防援助隊活動を実施 （消火隊：1 隊、後方支援隊：5 隊、計：14 人）
平成 24 年	消防職員 4 人を採用（総員 50 人） はしご車（幸田 31）を整備 第 57 回愛知県消防操法大会ポンプ車の部で第 2 分団が 3 位入賞
平成 25 年	消防職員定数条例を 60 人に改定 消防職員 4 人を採用（総員 53 人） 再任用職員 1 人を採用（総数 1 人） 防災行政無線をデジタル化に更新 （基地局・屋外子局 69 局、移動系無線局 50 局、戸別受信機 103 局） 高規格救急車（救急幸田 3）を更新
平成 26 年	消防職員 4 人を採用（総員 55 人） 再任用職員 1 人を採用（総数 1 人） 御嶽山噴火で緊急消防援助隊活動を実施 （後方支援隊：1 隊、計：2 人） 防災備蓄倉庫を設置（幸田中学校）
平成 27 年	消防職員 2 人を採用（総員 54 人） 再任用職員 1 人を採用（総数 1 人） 防災備蓄倉庫を設置（南部中学校） 消防救急無線をデジタル化に更新 消防庁舎に太陽光発電設備を整備

平成 28 年	消防職員 5 人を採用（総員 55 人） 嘱託員 1 人を採用（総数 1 人） 防災備蓄倉庫を設置（北部中学校） 消防団第 2 分団第 1 部の車庫兼詰所を新設
平成 29 年	消防職員 4 人を採用（総員 56 人） 再任用 1 人を採用（総数 1 人） 高規格救急車（救急幸田 2）を更新 第 62 回愛知県消防操法大会ポンプ車の部で 7 位入賞
平成 30 年	消防職員 2 人を採用（総員 59 人） 再任用 1 人を採用（総数 2 人） 岡崎幸田消防指令センターの共同運用を開始 西日本豪雨で緊急消防援助隊活動を実施 （救急隊：1 隊、計：3 人） 防災備蓄倉庫を設置（幸田高校） 火災調査車（幸田 51）を更新
令和 元年	消防職員 2 人を採用（総員 59 人） 消防ポンプ自動車（幸田 3）を更新 町内コンビニエンスストアに A E D（自動体外式除細動器）を設置
令和 2 年	消防職員定数条例を 70 人に改定 消防職員 4 人を採用（総員 59 人） 本町初の女性消防吏員を採用 消防ポンプ自動車（幸田 4）を更新 消防 PR 動画を作成（消防団加入促進事業）
令和 3 年	消防職員 6 人を採用（総員 63 人） 連絡車（幸田 54）を配備 資器材搬送車（幸田 63）を更新 防火パトロール車（幸田 53）を更新（愛知県共済生活協同組合寄贈） 消防団第 3 分団第 1 部の消防車を更新 熱海市伊豆山土石流災害で緊急消防援助隊活動を実施 （後方支援隊：1 隊、計：2 人）
令和 4 年	消防職員 3 人を採用（総員 65 人） 第 67 回愛知県消防操法大会ポンプ車の部で 9 位入賞 防災備蓄倉庫を設置（相見駅、三ヶ根駅）

出場から各地区到着までの平均所要時間



※消防本部を起点として、令和4年の救急出場事案から平均到着時間を算出する。

町の一般会計歳出予算総額に対する消防費の比率

区分 年度別	町の一般会計歳出 予算額（当初） （千円）	消防費（当初） （千円）	総予算に対する比率 （％）
平成30年度	15,520,000	601,924	3.9
令和元年度	16,460,000	622,539	3.8
令和2年度	17,660,000	710,280	4.0
令和3年度	18,020,000	687,157	3.8
令和4年度	19,400,000	752,323	3.9

人口1人当たり消防費

区分 年度別	消防費（当初）					人口 1人 当り額 （円）	人口 （年度当初） （人）
	総額 （千円）	常備 消防費 （千円）	非常備 消防費 （千円）	施設費 （千円）	災害 対策費 （千円）		
平成30年度	601,924	488,862	39,944	33,069	40,049	14,576	41,296
令和元年度	622,539	499,798	43,473	46,957	32,311	14,778	42,126
令和2年度	710,280	539,608	46,372	86,550	37,750	16,740	42,430
令和3年度	687,157	510,877	43,472	98,407	34,401	16,109	42,658
令和4年度	752,323	607,544	60,440	55,094	29,245	17,756	42,371

活動内容

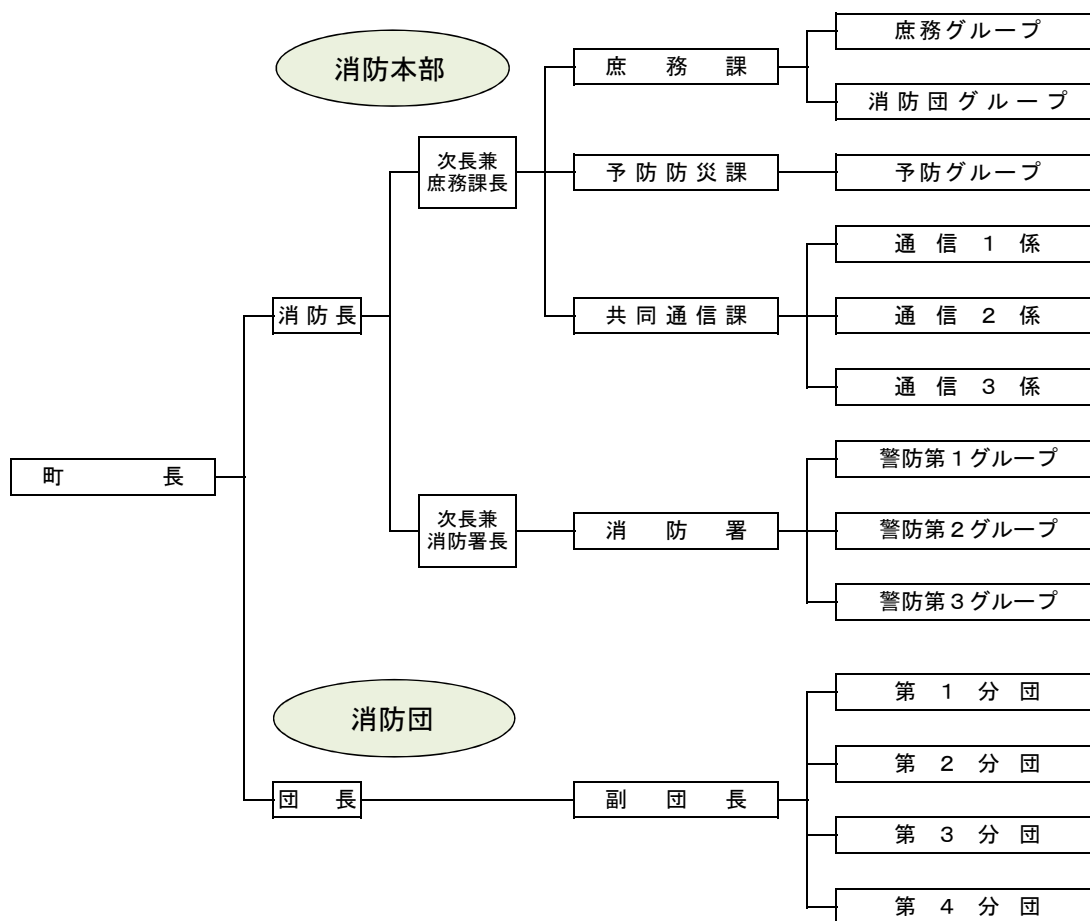
令和4年度

4 月	1 日	職員辞令交付式	
	2 日	消防団辞令交付式	(あじさいホール)
	3 日	消防団幹部視察研修	
	6 日	愛知県消防学校 初任科入校 3 人	(4/6~9/22)
	9 日	女性消防クラブ総会	
	10 日	消防団初訓練	
	10 日	第67回愛知県消防操法大会幸田町消防団決起集会	
	15 日	愛知県消防長会総会	(江南市)
	15 日	愛知県消防職員意見発表会 最優秀賞	(江南市)
	24 日	消防団新入団・幹部訓練	
	27 日	全国消防長会東海支部総会	(蟹江町)
	27 日	全国消防長会東海支部消防職員意見発表会 優秀賞	(蟹江町)
5 月	9 日	救急救命九州研修所 感染防止対策強化研修入所 1 人	(5/9~5/13)
	20 日	幸田町危険物安全協会総会	
6 月	1 日	愛知県消防学校 救急科入校 4 人	(6/1~7/22)
	2 日	水難救助訓練	
	5 日	消防団春の総合訓練	
	6 日	消防協力者表彰	
	7 日	第74回全国消防長会総会	
	7 日	高校生職場見学 (幸田高等学校)	
	9 日	水難救助訓練	
	9 日	中学生職場体験学習 (南部中学校)	
	10 日		
	16 日	水難救助訓練	
	19 日	岡崎市矢作消防団との操法合同訓練	
	23 日	令和4年度第1回幸田町緊急消防援助隊等受援訓練	
	26 日	第67回愛知県消防操法大会幸田町消防団出場選手壮行会	
	27 日	消防救助技術消防署内選考会	
7 月	10 日	第67回愛知県消防操法大会出場選手二十日会激励会	
	26 日	愛知県消防学校 はしご自動車等運用科入校 1 人	(7/26~7/28)
	30 日	第50回消防救助技術東海地区指導会	(名古屋市)
8 月	1 日	愛知県消防学校 危険物科入校 1 人	(8/1~8/5)
	4 日	高校生職場見学 幸田高等学校	
	6 日	第67回愛知県消防操法大会 ポンプ車操法の部	(常滑市)
	6 日	第67回愛知県消防操法大会 パブリックビューイング	
		※無観客開催のため (あじさいホール)	
	6 日	第67回愛知県消防操法大会 結果報告会 第9位敢闘賞	
	8 日	インターンシップ 幸田高等学校 3 人	
	9 日		
	10 日		
	9 日	愛知県消防学校 少年消防クラブ一日入校 荻谷小学校 9 人	
	20 日	愛知県消防学校 消防団員教育初級幹部科入校 2 人	(8/20~8/21)

9 月	1 日	緊急消防援助隊中部ブロック合同訓練	
	2 日	救急救命東京研修所入所 2 人	(9/2~3/13)
	3 日	総合防災訓練 (57機関 422人)	
	10 日	愛知県消防学校 女性消防クラブ 指導者科入校 4 人	
	16 日	消防職員委員会	
	29 日	愛知県消防学校 救助科入校 1 人	(9/29~10/27)
10 月	1 日	消防ひろば (来場者1,142人)	
	8 日	消防団幹部視察研修	
	9 日		
	18 日	高校生職場見学 (幸田高等学校)	
	29 日	危険物安全協会初期消火協議会	
11 月	7 日	愛知県消防学校 火災調査科入校 1 人	(11/7~11/18)
	13 日	防火パレード	
	13 日	消防団出動訓練	
	18 日	隣接消防合同訓練	
	23 日	愛知県外傷・災害対応講習 (Bコース) 受講 1 人	
	29 日	愛知県消防学校 はしご自動車等運用科入校 1 人	(11/29~12/1)
12 月	5 日	愛知県消防学校 警防科入校 1 人	(12/5~12/20)
	6 日	緊急消防援助隊等受援訓練	
	15 日	女性消防クラブ視察研修	
	20 日	西三河地区合同訓練	(西尾市)
	27 日	年末夜警	
	28 日		
1 月	7 日	消防出初め式	
	21 日	文化財防火訓練	
	21 日	愛知県消防学校 消防団員教育 指揮幹部科 現場指揮課程入校 2 人	(1/21~1/22)
	25 日	愛知県消防学校 救急科入校 3 人	(1/25~3/17)
2 月	10 日	西三河地区消防職員意見発表会	
	17 日	消防警察合同訓練	
	23 日	公安系公務員ガイダンス	
	25 日	奈良県安堵町防災フェスタ参加	
3 月	12 日	消防団機械器具引継ぎ	



消防組織編成



消防職員配属状況

R5. 4. 1

職員数 (人)		階級						合計
		消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	
区分		1	8	10	16	15	15	65
消防本部	消防長	1						1
	消防次長兼庶務課長		1					1
	庶務課		2	1	3	2		8
	予防防災課		2	2	1	1		6
	共同通信課			1	1	2		4
消防署	消防次長兼消防署長		1					1
	署日勤		2					2
	警防第1グループ			2	4	3	5	14
	警防第2グループ			2	4	3	5	14
	警防第3グループ			2	3	4	5	14

消防本部（署）階級別人員

R5. 4. 1

消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	合計（人）
1	8	10	16	15	15	65

消防職員勤務年数状況

R5. 4. 1

階級 年数	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	合計（人）	（人）			
								5	10	15	20
～ 1年未満						4	4				
1年以上～ 3年未満		2				7	9				
3年以上～ 5年未満					1	4	5				
5年以上～ 7年未満					6		6				
7年以上～ 9年未満				1	6		7				
9年以上～11年未満				4	2		6				
11年以上～13年未満				5			5				
13年以上～15年未満				2			2				
15年以上～17年未満				2			2				
17年以上～19年未満							0				
19年以上～21年未満				2			2				
21年以上～23年未満							0				
23年以上～25年未満			1				1				
25年以上～27年未満			2				2				
27年以上～29年未満		1	5				6				
29年以上～31年未満		1	2				3				
31年以上～33年未満							0				
33年以上～	1	4					5				
合計（人）	1	8	10	16	15	15	65	5	10	15	20

消防職員階級別年齡

R5. 4. 1

階級 職員數(人)	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	合計(人)	(人)			
	1	8	10	16	15	15	65				
年齡								2	4	6	8
18						2	2				
19						2	2				
20						4	4				
21						2	2				
22						2	2				
23						1	1				
24					3	2	5				
25					3		3				
26							0				
27				1	1		2				
28					3		3				
29				2	2		4				
30					2		2				
31				2	1		3				
32				2			2				
33							0				
34				2			2				
35				2			2				
36				1			1				
37							0				
38				2			2				
39				1			1				
40							0				
41				1			1				
42							0				
43			1				1				
44			2				2				
45			2				2				
46			1				1				
47			1				1				
48			1				1				
49			1				1				
50			1				1				
51		2					2				
52		1					1				
53		1					1				
54							0				
55		2					2				
56							0				
57		1					1				
58							0				
59	1	1					2				
60							0				
61							0				
62							0				
平均	59.0	54.1	46.1	33.8	27.1	20.7	34.0	2	4	6	8

消防職員教養実施状況

R5. 4. 1

職員数(人)		階 級	消 防 司 令 長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 副 士 長	消 防 士	合 計 (人)	
		教 養 区 分	1	8	10	16	15	15	65	
消 防 大 学 校	総合教育	幹 部 科	1	2					3	
	専科教育	警 防 科							0	
		予 防 科		1	1				2	
		救 助 科							0	
		救 急 科				1			1	
		危 険 物 科				1			1	
愛 知 県 消 防 学 校	幹 部 科	初 級			2				2	
		中 級		1	1				2	
		上 級		1					1	
	予 防 科	査 察 課 程			1	1	4	1		7
		危 険 物 課 程			3		2	1		6
		火 災 調 査 課 程			2	2	1	1		6
	救 急 科	標 準 課 程			2	10	14	15	10	51
		Ⅱ 課 程 (岡 崎 市)	1		4					5
		Ⅰ 課 程	1		4					5
	救 助 科	救 助 課 程	1		5	7	5	1		19
水 難 救 助 課 程				1	2				3	
初 任 科	初 任 科		1	6	10	16	15	11	59	
	警 防 科				3	3			6	
	は し ご 自 動 車 等 運 用 科			1	4	3	1		9	
	指 揮 隊 科				2	1			3	
そ の 他	救 急 救 命 士 (東 京)		1	3	6	8	1		19	
	救 急 救 命 士 (九 州)					2			2	
	指 導 救 命 士 (九 州)					1			1	
	感 染 防 止 対 策 強 化 研 修 (九 州)					1			1	

消防職員資格取得状況

R5. 4. 1

種 別		階 級 職員数(人)		消 防 司 令 長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 副 士 長	消 防 士	合 計 (人)
				1	8	10	16	15	15	65
運 転 免 許 証	大 型	型	1	5	10	16	15	3	50	
	中 型	型	1	8	10	9	1	29		
	準 中 型	型				5	15	2	22	
	普 通	通						13	13	
	大 型 特 殊	種			1	1	2	4		
	けん引	引				1		1		
	大 型 自 動 二 輪			2	3	5	2	2	14	
	普 通 自 動 二 輪			4	6	7	4	2	23	
救 急 資 格	救 急 救 命 士		1	3	6	11	1	1	23	
	薬 剤 投 与		1	3	6	10			20	
	気 管 挿 管			2	1	4			7	
	処 置 範 囲 拡 大			3	6	7			16	
	標 準 課 程 ・ II 課 程		1	6	10	14	15	10	56	
無 線	陸 上 特 殊 無 線 技 士			5	10	15	15	11	56	
	ア マ チ ュ ア 無 線 技 士		1	4		1			6	
危 険 物 取 扱 者	甲 種								0	
	乙 種			3	2	8	7		20	
消 防 設 備 士	甲 種			1	1		1		3	
	乙 種			6	1	2	2		11	
予 防 技 術 資 格 者	危 険 物			1	2	2	1		6	
	防 火 査 察			2	2	6	1		11	
	消 防 用 設 備 等			1	2	1			4	
防 災 士			1	4	5				10	
自 動 車 整 備 士 (2 級)									0	
潜 水 士 免 許				3	3	5	5	2	18	
船 舶 操 縦 士 免 許			1	5	4	11	6	3	30	
移 動 式 ク レ ーン	免 許			1					1	
	講 習 修 了 証		1	1	7	13	9	3	34	
玉 掛 技 能 講 習 修 了 証			1	2	8	16	15	11	53	
ガ ス 溶 接 技 能 講 習 修 了 証			1	2	2	2	1		8	
酸 欠 ・ 硫 化 水 素 危 険 作 業 主 任 者				1	1	1			3	
毒 劇 物 取 扱 者			1						1	
衛 生 管 理 者 (第 1 種)				3	1	1			5	

消防本部（署）車両

R5. 4. 1

自動車種別	呼出名称	自動車番号	メーカー	導入年月	ポンプ 級 別	タンク 容量等
水槽付消防 ポンプ自動車	幸 田 1	岡崎 800 は 80	日 野	H21. 2	A-2	水 2,000 ㍓
消 防 ポンプ自動車	幸 田 3	岡崎 800 さ 2704	い す ゞ	R1. 6	A-2	水 800 ㍓
消 防 ポンプ自動車	幸 田 4	岡崎 800 さ 2982	い す ゞ	R3. 2	A-2	水 700 ㍓
はしご自動車 (30m)	幸 田 3 1	岡崎 830 さ 845	日 野	H24. 2		30m級 先端屈折式
救助工作車	幸 田 4 1	岡崎 800 は 90	日 野	H21. 9		水 120 ㍓
火災調査車	幸 田 5 1	岡崎 800 さ 2613	ト ヨ タ	H30. 11		
指 揮 者	幸 田 5 2	岡崎 800 さ 167	ト ヨ タ	H18. 12		
防 火 パトロール車	幸 田 5 3	三河 880 さ 3187	ト ヨ タ	R4. 3		
連 絡 車	幸 田 5 4	岡崎 500 は 2628	ト ヨ タ	R3. 8		
防 火 パトロール車	幸 田 5 5	岡崎 830 せ 119	ト ヨ タ	H20. 2		
資機材搬送車	幸 田 6 1	岡崎 800 さ 165	ト ヨ タ	H18. 12		
資機材搬送車 (クレーン付き)	幸 田 6 2	三河 800 す 4141	日 野	H16. 11		
資機材搬送車	幸 田 6 3	岡崎 480 え 7232	ダイハツ	R3. 8		
水 槽 車 (小型動力ポンプ付水槽車)	幸 田 7 1	三河 800 は 681	日 野	H17. 3	B-2	水 7,700 ㍓ 薬液 510 ㍓
救急自動車	救急幸田 1	岡崎 830 な 119	ト ヨ タ	H23. 2		
救急自動車	救急幸田 2	岡崎 830 ぬ 119	ト ヨ タ	H30. 1		
救急自動車	救急幸田 3	岡崎 830 さ 99	ト ヨ タ	H26. 2		

消防水利施設

R5. 4. 1

消 防 水 利	総 数
消 火 栓	471
防 火 水 槽	207
プ ー ル	9
私 設 水 槽	60
自 然 水 利	62
合 計	809